



補習校だより

グアム補習授業校
2021 (令和3) 年度
No. 02
5月8日 (土)

「子曰、歳寒、 然後知松柏之後彫也、」

校長 佐藤 康隆

先週土曜日の中学3年生の国語の授業で、私にとっては久しぶりに『論語』と再会した。私が中学生時代に国語の教師から進められて読んだのが初めての『論語』との出逢いで、関心を抱き孔子やその弟子たち、さらには儒教についても研究した覚えがある。その頃は多感な時期で、その他にも夏目漱石、森鷗外、星新一、シェイクスピアにブロンテ姉妹などありとあらゆる本に夢中になっていた。そんな中、いつの間にか『論語』も「そういうもの」のうちの一つにすぎなくなっていた。

二度目の出逢いは、確か大学の図書館だった。教師を目指して学業に励むはずが、バイトやサークルなどに明け暮れ、ふと立ち寄った図書館で『論語』を見付け立ち読みをした。一つ一つの言葉が自分を戒めてくれて、心が清らかになった覚えがある。

三度目は、副校長となり3年目だったかと思う。祖父の葬儀の後に父が私に『論語』解説本を贈ってくれた。いまさらという思いでずっと放置していたが、今思えばなぜ、いつも見える所に置いたのだろうか。つい手に取って読み始めた時に、教育者としてのあるべき姿がまさしく読み取れた覚えがある。

そして、今回が四度目、いやもうすでに何回も出逢ってはいるもののじっくりと味わったのは四度目。私が気になったのは題名の言葉「子曰、歳寒、 然後知松柏之後彫也」である。「寒い季節になって初めて松や柏が散らずに残ることがわかる。同じように、危機になってはじめて誰が真に力をもっているかがわかる。」ということである。

こんな世界が危機的な状況だからこそ、あらゆるものの真実が見える と感じる。

保護者の皆さまが手に取って、一度は読んであげて欲しいなと思います。今理解できなくても、必ず将来、「生き方」によい影響はあると思います。

【今後の予定】

- 5月30日 (土) 英語検定一次試験
- 6月12日 (土) 日本語検定
- 6月19日 (土) 第一学期終業式 (授業あり)
- 6月26日 (土) 漢字検定
- 6月27日 (日) 英語検定二次試験



【オンライン授業配信について】

これまで、原則「新型コロナ感染予防のため学校に来られない」という理由で、その代替措置としてオンライン授業の配信を実施してまいりました。今後長期休業もありご家庭の事情で日本へ帰国される場合もあるかと思えます。

登校している児童・生徒への授業をしっかりと実施するため、オンライン授業配信は、感染予防のためやむを得ない場合のみの対応でありますことをご理解ください。

【全日制体験教室中止について】

例年、全日制の体験教室が6月末から実施されておりましたが、新型コロナ感染予防対策のため、全日制より今年度は中止するという意向が伝えられました。楽しみにしていたご家庭には大変申し訳ございませんが、ご理解いただければと思います。

【補習授業校 校則改訂】

グアム日本人学校では、3月11日の全日制校則改訂を受けて、補習授業校校則についても改訂作業を進めてまいりました。学校だよりと同時に本日配布しております改訂(案)につきまして、よくお読みいただき改訂箇所のご理解をお願いいたします。なお、正式決定は5月13日の学校理事会にて承認後となりますが、その効力は令和3年度4月1日からとなりますこと重ねてご了承ください。何かご意見、ご質問等ございましたら校長までお問い合わせください。

離任された先生方より

補習校の皆さんと過ごしたこの2年間は、短くとも私にとってかけがえのないものです。いつも目がキラキラしていて素直で真面目、だからどんどん伸びていく、そんな子供たちに多く出会えたことは、本当に嬉しくもあり、驚きもありました。

そんなグアム補習授業校を離れるのはとても名残惜しいですが、これからは、少し離れたところから皆さんを応援していきたいと思えます。本当にありがとうございました。
(石井先生)

1年という短い間でしたが、保護者様や諸先生方の温かいサポートのおかげで、とても楽しく勤務させていただきました。素直で明るい補習校の子どもたちに会えなくなるのはとても寂しいですが、大きくなったみんなに、またいつかどこかで会える日を楽しみに、私も頑張ります。本当に、1年間ありがとうございました。
(ヘプファー先生)

「これからもお元気で！」

週1回の補習校勤務でしたが、私にとって生活の中心のひとつでした。

- ・おもしろい教材は、ないかな？
- ・単元を、どんな風に展開して行こうかな？
- ・ゲーム感覚で、楽しく学べる方法はないかな？

子どもたちの顔を思い浮かべ、わくわくしながら考えていました。

日本帰国時には単独でアポを取り、音読や日本語指導について学ぶ為に、大学教授の研究室にビデオを持って押しかけた事もありました。

私がこのように学びたいと感じ、楽しみながら教材研究を行えたのは、現地校と補習校の両方で、努力をしている子どもたちがいたからです。

保護者の皆様には、これまで本当にお世話になりました。毎日の音読確認や調理実習、お誕生日会、宿題の提出など、ご理解ご協力ありがとうございました。

子どもたちが大きな力強い翼を持って、羽ばたいて行きますように。

(デラクルーズ先生)



「補習校だより」は、学校のホームページでもご覧になれます。

<http://japaneseschoolguam.com/> ホーム > お便り > 補習校だより